

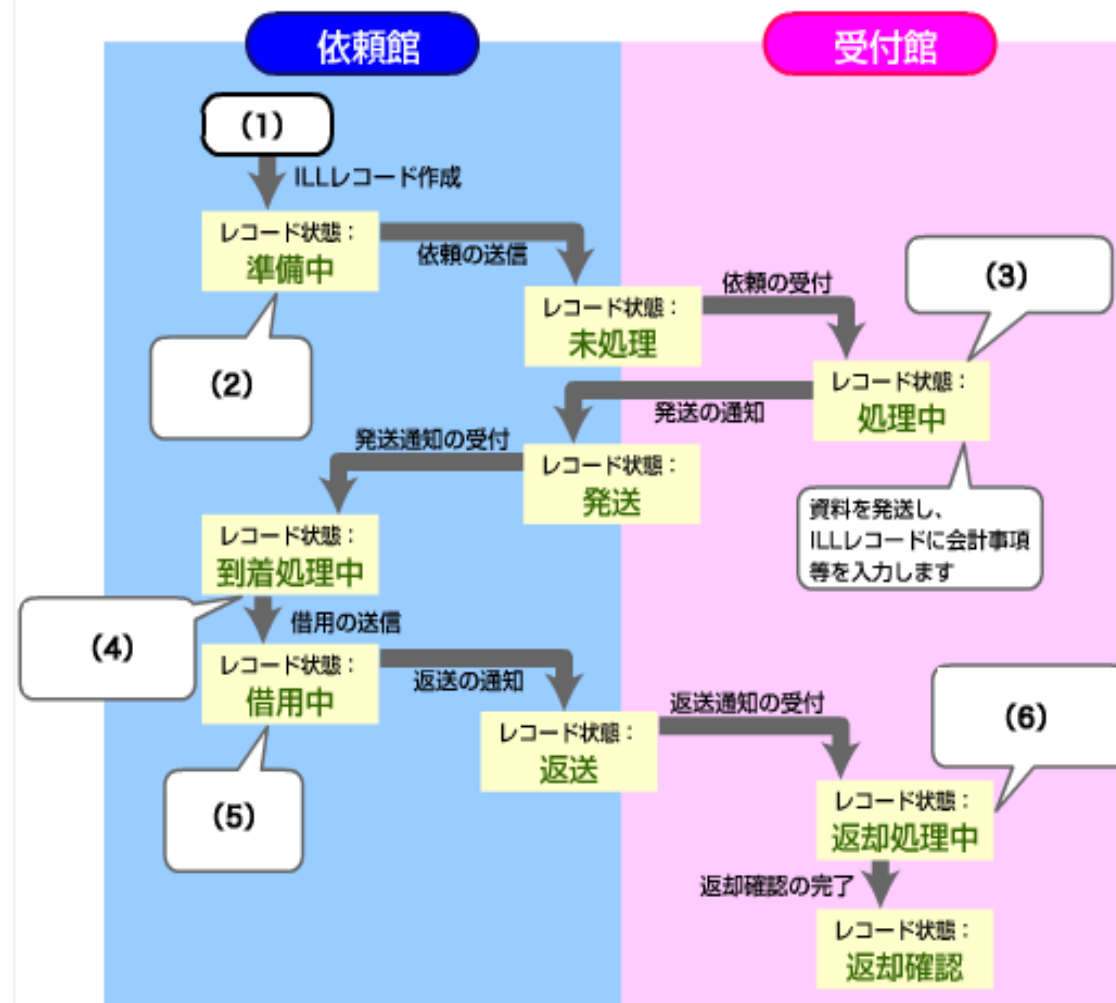
修得テスト(ILL)問題(第1回) 色付セル(一部,赤字)が正解です。

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
1	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 1. 学生や研究者が学習・研究を進める上で必要不可欠な文献や各種データを【(1)】といい、これらの情報を提供することは、大学図書館等の重要な【(2)】である。 2. 目録所在情報サービスは、「NACSIS-【(3)】」により大学図書館等の学術情報を共有化し、NACSIS-【(4)】により全国規模で相互利用できるようにしたものと表現することができる。	(1) 目録所在情報 (2) 機能 (3) CiNii Books (4) ILL	(1) 学術情報 (2) 機能 (3) CAT (4) ILL	(1) 学術情報 (2) 権利 (3) ILL (4) CAT		目録所在情報サービス及び各サービス(NACSIS-CAT,NACSIS-ILL)についての総合問題です。それぞれの意義と概要を正しく理解しましょう。
2	ILLシステムのメリットについて述べた次の文章のうち、【正しいもの】はどれか。	所在調査に、NACSIS-CATに加えNDL-OPACも参照でき、最新の書誌・所蔵データが利用できる。	依頼先を複数、最大5館まで指定することができ、1館に断られても自動的に次の候補館に転送される。	国内のNACSIS-ILL参加館だけでなく、外部システムとの連携により、韓国のKERISに参加する図書館への依頼も可能である。		ILLシステムには主に4つのメリットがあります。それぞれについて、正しく理解しましょう。
3	ILLの基本機能を説明した下記の図の(ア)～(エ)にあてはまる言葉はどれか。番号を入れなさい。 1. 書誌所在情報を登録 2. 他書誌作成機関のデータベースも参照可 3. 検索 4. 情報の参照・ILLデータへの引用 正解: ア[[3] イ[[1] ウ[[2] エ[[4]					NACSIS-ILLは参加館が共同分担入力で築き上げた総合目録データベース、NACSIS-CATのデータを利用して、簡単に相互協力ができるしくみです。1つのILLデータがどのように作成され、遷移し、活用されるか理解しましょう。

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
4	ILLシステムにおける目録検索について述べた次の文章のうち、【間違っているもの】はどれか。	ILLシステムにおける目録システムの有用性の一つに、NACSIS-CATを使って、常に最新の目録所在情報の確認が簡単にできる点が挙げられる。	所蔵検索では、所蔵巻号や利用条件等で適切な所蔵館の絞り込み検索ができる。	ILLシステムにおける目録検索では、基本的には操作の流れは「書誌検索→所蔵検索」になるが、必要な場合は「所蔵検索→書誌検索」の流れで操作してもよい。		ILL依頼を円滑に行うためには、正しい所在確認、すなわち目録検索が重要です。ILLシステムにおける目録検索の意義・有用性・操作の流れ等を正しく理解しましょう。
5	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 1.検索キーは、大文字でも小文字でも、半角でも全角でもよい。これはシステム内で【(1)】処理が行われるからである。 2.所蔵検索では、特定の所蔵館に絞り込んでの検索が可能である。例えば、ILL相殺サービス参加館だけに限定したい場合には、料金相殺グループコード(GRPCODE)に【(2)】と入力し、再検索すればよい。	(1) 漢字統合 (2) A	(1) 正規化 (2) N	(1) 標準化 (2) S		総合目録データベース(NACSIS-CAT)は、独自の仕組みを採用しているため、検索する際に注意が必要です。総合目録データベースの特徴をよく理解し、正しい目録検索を心がけましょう。
6	次のチャートは、複写業務におけるILLデータの状態の流れを示したものである。 空欄に入る状態名の正しい組み合わせはどれか。 (目録検索) ↓ FORM 「【(1)】」 ↓ ORDER 「未処理」 ↓ RECEIVE 「【(2)】」 ↓ SEND 「【(3)】」 ↓ RECEIVE 「到着処理中」 ↓ OK 「確認」	(1) 処理中 (2) 発送 (3) 準備中	(1) 発送 (2) 準備中 (3) 処理中	(1) 準備中 (2) 処理中 (3) 発送		ILLシステムの特徴の一つに、ILLデータの「状態」があります。この「状態」により、依頼館・受付館での処理状況を確認することができます。「ILLデータ状態遷移図」等をもとに、全体の流れをよく理解しておきましょう。

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
7	<p>次の内容の依頼データを作成したい。該当フィールドの空欄に入る情報の正しい組み合わせはどれか。</p> <p>支払区分=私費(pr) 『ヒマラヤ学誌』2号(1990) p.30-35 申込者=相互太郎(学生)</p> <p>ACCT=【 (1) 】 BIBNT=ヒマラヤ学誌 VLNO=【 (2) 】 PAGE=【 (3) 】 YEAR=【 (4) 】 CLNT=【 (5) 】 CLNTP=【 (6) 】</p>	(1) pr (2) 2 (3) 30-35 (4) 1990 (5) 相互太郎 (6) 学生	(1) pr (2) 1990 (3) 2 (4) 30-35 (5) 相互太郎 (6) 学生	(1) pr (2) 1990 (3) 30-35 (4) 2 (5) 学生 (6) 相互太郎		<p>複写依頼データ作成時の主な入力項目についての確認問題です。基本的な入力項目と対応フィールドの組み合わせを覚えておきましょう。依頼(ORDERコマンド)時の必須項目は特に重要ですので、よく理解しましょう。</p>
8	<p>依頼資料の発送にかかった費用を依頼館に通知したい。該当フィールドの空欄に入る情報の正しい組み合わせはどれか。</p> <p>【現物貸借 送料=500円】</p> <p>UPRCE=【 (1) 】 QNT=【 (2) 】 CHARGE=【 (3) 】 POSTG=【 (4) 】 SUM=【 (5) 】</p>	(1) 該当値なし (2) 該当値なし (3) 該当値なし (4) 500 (5) 500	(1) 500 (2) 500 (3) 500 (4) 該当値なし (5) 該当値なし	(1) 500 (2) 500 (3) 500 (4) 該当値なし (5) 該当値なし		<p>複写依頼データの発送通知時に入力する会計項目についての確認問題です。正しい情報を適切なフィールドに入力しなければ、SENDコマンド発行時にエラーになる場合があります。間違ったまま送信してしまうと会計トラブルのもとになる恐れもあります。十分注意しましょう。</p>
9	<p>依頼した資料が届いた時の操作で正しいものはどれか。</p>	<p>複写の場合も貸借の場合も、資料が発送されると業務選択画面に早急処理マークがつく。</p>	<p>貸借の場合、返送する時はSENDコマンドを発行する。</p>	<p>複写の場合、届いた資料とデータを確認して問題がなければOKコマンドを発行する。</p>		<p>依頼した資料が届いた後の依頼館での操作についての確認問題です。複写業務では、資料の到着後の確認をもって業務が終了になりますが、貸借業務では、借用処理と返送処理とが発生します。2つの業務で共通する部分と異なる部分とを、各自で整理してみましょう。</p>

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
10	<p>下記のILL業務が行われている箇所を、ILLシステムの上でどの場面か答えなさい。</p> <p>正解: (ア)検索[[1]] (イ)到着した資料とデータの内容を照合[[4]]</p>					<p>ILLシステムにおける目録検索から、複写・貸借業務の基本操作までの総合的な確認問題です。各データの状態に対して、どのようなILL業務が行われるかイメージがつかめたでしょうか。</p>



問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
11	<p>総合目録データベースに該当する書誌データがヒットしなかった場合の作業の流れについて、空欄に入る適当な言葉を番号で選びなさい。</p> <p>目録検索:総合目録データベースにも参照データセットにも書誌がなかった ↓ OPAC検索等, その他の方法で参加館の[[3]]を確認 ↓ 参加組織情報の検索:依頼先の参加組織データIDを調べ, [[1]]を確認 ↓ データ作成:ILLデータを作成し, 依頼内容を入力 ↓ 依頼の送信</p> <p>(1) レンディングポリシー (2) E-mailアドレス (3) 所蔵</p>					総合目録データベースに書誌データがなくても, ILLデータを作成することができます。総合目録データベースにヒットした場合との違いについての確認問題です。
12	キャンセルする場合に行う操作で, 【間違っているもの】はどれか。	依頼を取り消すことができるのは, 受付館がまだ受け付けていない「未処理」の状態のデータに限る。	依頼の取り消しは, データの状態復帰と, 依頼の取り消しの2段階で行う。	受付館が受付済みの, 未処理の1つ後の「処理中」の状態のデータは, キャンセルすることができる。		キャンセルの操作と注意点の確認問題です。
13	謝絶についての説明で【間違っているもの】はどれか。	受付館が製本中等の理由で謝絶するとデータは「未処理」または「新着照会」状態となる。	謝絶を送信するときは, CMMNTフィールドへの入力が必要である。	依頼に応じられない時, PARDONを送信すれば, CMMNTフィールドに理由を入力する必要はない。		謝絶の操作の状態遷移の確認問題です。

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
14	<p>次のチャートは、依頼内容の問い合わせを示したものである。 空欄に入る正しいコマンド名(WebUIPの場合)はどれか。</p> <p>「処理中」[受付館] ↓(INQUIRE) 「【 】」 ↓(RECEIVE) 「照会」[依頼館] ↓(ANSWER) 「回答待ち」 ↓(RECEIVE) 「処理中」[受付館] ↓(SEND) 「発送」</p>	クレーム回答待	未処理	新着照会		依頼内容の問い合わせに関する操作の確認問題です。
15	<p>次のチャートは、到着資料の問い合わせを示したものである。 空欄に入る正しい状態名はどれか。</p> <p>「到着処理中」[依頼館] ↓(CLAIM) 「【 】」 ↓(RECEIVE) 「処理中」[受付館] ↓(SEND) 「クレーム回答待」 ↓(RECEIVE) 「到着処理中」[依頼館]</p>	クレーム未処理	回答待	新着照会		到着資料の問い合わせに関する操作の確認問題です。 混乱してきたら「ILLデータ状態遷移図」等をもとに全体の流れをよく理解しておきましょう。

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
16	次のチャートは、更新請求を示したものである。空欄に入る正しい状態名はどれか。 「借用中」[依頼館] ↓(RENEW) 「【 】」 ↓(RECEIVE) 「返却処理中」[受付館] ↓(CLAIM) 「返却クレーム未処理」 ↓(RECEIVE) 「借用中」[依頼館]	新着照会	更新請求	返送		更新請求および返却資料に関する問い合わせの状態遷移の確認問題です。
17	グローバルILLについての説明で【間違っているもの】はどれか。	グローバルILLとは、インターネットのメールによってILLの依頼・受付を行うシステムである。	日韓ILLではILL料金等相殺サービスにより料金の決済が行われる。	日韓ILLは依頼と受付両方が可能である。		グローバルILLの概要についての確認問題です。
18	参加組織情報とILLデータ検索についての説明で【間違っているもの】はどれか。	参加組織データのレンディングポリシー<POLICY>に導入句「WEBPOLICY:」をつけて入力した内容は、CiNii Booksに反映される。	参加組織データはFA番号と呼ばれる参加組織データIDで管理されている。	「処理中」や「照会」のような相手館が処理の最中の状態のデータはILLデータ検索で検索することができない。		参加組織情報のメンテナンスの重要性の確認と、ILLデータ検索の確認問題です。
19	ILL文献複写等相殺サービスについての説明で【間違っているもの】はどれか。	国・公・私立大学等の全てのILLシステム参加館の加入が可能である。	ILL文献複写等相殺サービスは、文献複写・現物貸借が発生した度に、予め購入したパウチャーによって料金を支払うことができる仕組みである。	月次処理では、毎月末でILLレコードの状態(STAT)が「確認」及び「返却確認」になったものを、対象レコードとして固定する。		ILL文献複写等相殺サービスに関する確認問題です。
20	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 受付したILLデータの書誌情報に不備がある場合には、【(1)】コマンドで謝絶せず、依頼館に内容を問い合わせた方がよい。謝絶の操作を【(2)】で確認すると、次候補館があれば【(3)】になって次候補に転送されることが分かる。	(1) PARDON (2) 状態遷移図 (3) 未処理	(1) INQUIRE (2) 状態遷移図 (3) 未処理	(1) PARDON (2) 変遷マップ (3) 新着照会		状態遷移図と応用操作に関する問題です。

グローバルILLが終了したことにより、この設問は削除しました。